

# 上田市公文書館だより / 第22号

## ■公文書館から



### 福澤諭吉とつながる？

●明治期の代表的な思想家、著作家、教育者、ジャーナリストの福澤諭吉（1835-1901）と当地をつなぐものを二つほど紹介します。●最初は下村忠兵衛宛の諭吉の書簡(※)です。忠兵衛は「依田社」を設立した下村亀三郎（1867-1913）の父です。亀三郎は希望に燃えて慶応義塾に入学しましたが、病を得て志半ばで同塾を辞めざるを得ませんでした。この書簡には亀三郎の思いを酌んだ諭吉の提案が記されており、当時サンフランシスコで甲斐商店を経営していた慶応義塾OBの甲斐織衛（1850-1922）のところへ将来のために亀三郎を行かせてはどうかという内容でした。実現はしませんでした。●次に東塩田の県道脇に立つ「表徳碑」についてです。私の通勤途中にあるので毎日目にします。小県郡史餘篇（大正12年小県郡役所刊行）によると、この石碑は石神村の龍野庄藏（1813-1884）の業績を称えて門人らにより建立されたもので、表に後藤象二郎頭額、金玉均撰併書「考本忠愛誠推…」等の字句が、裏に明治23年10月の日付や関係者の名が刻まれています。●後藤象二郎（1834-1897）は土佐藩出身の明治維新の元勳で大政奉還や大同団結運動で活躍しました。金玉均（1851-1894）は朝鮮王朝末期の政治家で、朝鮮の近代化を目指した開化派の中心人物でしたが、甲申政変（1884）に失敗して日本に亡命します。後に上海で対立勢力に暗殺されてしまいます。諭吉は両者と交流があり、彼等に対し何かと支援しました。二人とも能書家としても著名で、この碑に至る経緯は不明ですが、歴史に名を残す人物の字句がこの地に残りました。（土屋）

福澤諭吉写真：出典：国立国会図書館「近代日本人の肖像」／(※)福澤諭吉の書簡：下村亀三郎伝「暁雲」（昭和55年）に掲載されたものを参照、書かれた日付は明治19年（1886）1月20日

## ■公文書館の催し

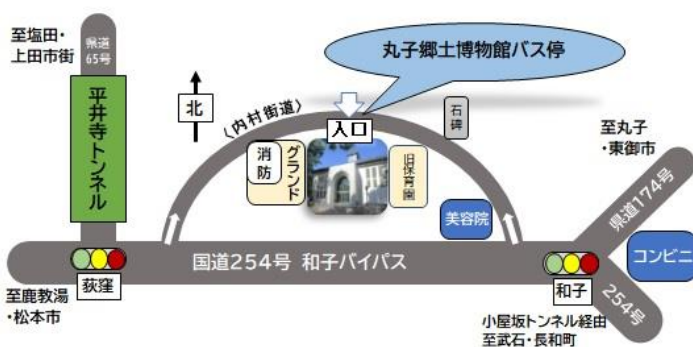
### ◎第10回公文書館所蔵品企画展

「明治・大正・昭和の公文書にみる上田市の歴史 —上田町役場開設から産業道路建設まで—」

- 期間 10月9日（日）まで一階ロビーにて
- 観覧無料
- 説明 ご希望により随時行います。

## ■公文書館のご案内

開館時間：午前9時～午後5時（最終入館は午後4時30分までに）



### □住所・電話

〒386-0413 長野県上田市東内 2564-1  
Tel.0268(75)6682 Fax.0268(75)6683

### □メール

kobunshokan@city.ueda.nagano.jp

### □ホームページ

上田市ホームページ内を公文書館で検索

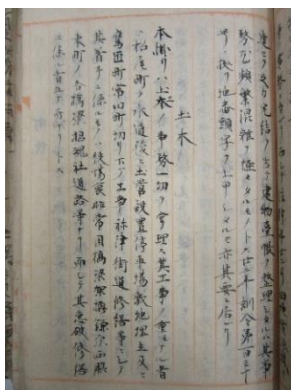
## ■ 公文書館所蔵資料の紹介

### 上田町役場開設と松尾町・上田駅の整備関係文書（明治 22 年）

◆明治 23 年 3 月の「上田町役場事務報告」文書には、明治 22 年 4 月に施行された町村制によって、同年 7 月に上田町の新役場が開設され、12 月までに処理した事務の概要を「事務報告」で県に報告しています。当時の上田町役場は原町に開設されました。◆この文書によると「庶務・税務の二分課を置き、議事・文書・庶務・学務・農商・衛生・戸籍・兵事・地理・土木の事務はこれを庶務（課）の管掌とし、町税・地方税・国税の事務はこれを税務（課）の管掌とし、ほかに会計主任の書記を収入役に分属させる」旨、記述しています。◆この事務報告の「土木」の項では、この年の主な土木工事として「松尾町の水道浚（さら）い、土管埋設、停車場敷地埋立及び鷹匠町、常田町切り下げ工事、祢津街道修繕等」との記述があります。この記述は明治 21 年 8 月に開業した上田駅新設に伴い、駅と海野町を結ぶ新道の松尾町通りが開削された工事に関係したものとみられます。

◆松尾町の整備、その残土による上田駅敷地の埋め立てや鷹匠町、常田町の切り下げ工事など、新しい上田町役場が開設され、上田駅、松尾町などが整備されていく状況がうかがえます。この上田駅新設は、上田・小県郡地方の交通に大きな変革をもたらしました。当時長野・上田間の汽車は一日 3 便で、長野まで約 1 時間 20 分かかりました。◆その後同年 12 月には、軽井沢・直江津間が開通しました。明治 26 年 4 月 1 日には、難工事だった碓氷峠の 26 か所のトンネル工事が完成しました。急坂の軽井沢と横川間にはアプト式が導入され、信越線は東京まで全線が開通しました。明治 31 年の時刻表では上田発 7 時 33 分の汽車が上野着 16 時で、8 時間 27 分を要しました。

（倉澤）



「明治 22 年度事務報告書」  
上田町の最初の事務報告書には、明治 22 年 7 月に上田町の新役場が開設され、12 月までに処理した事務内容を県に報告している。



「明治時代の上田駅」  
明治 21 年 8 月 15 日に開業した上田駅は 6,600 坪の構内敷地を有し、駅前には人力車、郵便人力車が置かれていた。

## ■ 公文書館の利用について

※公文書館は入場無料、郷土博物館展示室は有料（大人 100 円）

- 📌 資料の検索: 目録検索システムをご利用ください。
- 📌 閲覧の申込: 所定用紙でお申込みください。メール、ファックスでもお申込みできます。一度に閲覧できる点数は「5点」までです。
- 📌 資料の閲覧: 個人情報の審査終了後、閲覧の可否を連絡します。館外貸出しは行いませんので、館内閲覧室でご覧ください。



- ◎審査にお時間をいただく場合があります。また、個人情報を含む資料は閲覧できない場合があります。
- ◎目録検索システム、閲覧申込書は、上田市ホームページの公文書館のページからご利用ください。